

番号	2-4-1	表題	エネルギー自立型焼却システムの開発	
内容	<p>当局では、下水道事業における地球温暖化防止計画「アースプラン 2010」の取り組みを不断に継続し、地球温暖化対策を積極的に推進するために、省エネルギー・再生可能エネルギー効果の高い技術の導入を進めている。</p> <p>汚泥処理工程で発生する温室効果ガスに関しては、焼却炉の高温焼却や、運転管理の工夫により二酸化炭素(CO₂)排出量を大幅に削減してきたが、電力使用によるCO₂排出量は横ばいであった。</p> <p>そこで、汚泥焼却時に買電より安価な発電を行い、汚泥焼却炉における使用電力量を発電電力量が年間で上回り、かつ補助燃料を必要としない「エネルギー自立型焼却システム」の構築に向けた共同研究を実施した。本報告では、システムの構成設備である「超低含水率型脱水機」及び「エネルギー自立型焼却」の研究内容及び結果について報告する。</p>			
キーワード	省エネルギー 再生可能エネルギー 電力自立 補助燃料不必要			
処理区名		位置区分	処理場 水再生センター、汚泥	
職種区分	設備	施策区分	温室効果ガス削減対策、汚泥処分 汚泥資源化、エネルギー 熱利用	
状態区分	調査 研究	新規性	新規知見あり	
実施年度	平成 25 年度～平成 27 年度	全体期間	平成 25 年度～平成 27 年度	
担当部署	計画調整部 技術開発課 竹谷 修平			
発表履歴	局内			
	局外	平成 27 年度 第 52 回下水道研究発表会		
調査方法	開発技術の導入を前提とした共同研究			
関連情報	経営計画 2013、スマートプラン 2014			